

## ブックリスト

令和5年度 ふるさと福井の考古学公開講座

## 「新幹線を掘る～新幹線の下へのヒミツ～」に関連する本

公開講座に合わせて、福井県立図書館蔵の関連本を紹介します。

	書名	著者	出版社	出版年	資料コード	内容	請求記号	
福井城跡	 太陽コレクション 城下町古地図散歩 金沢・北陸の城下町	高橋洋二/編	平凡社	1995	1040758243	福井城を含む北陸の城下町の様相と変遷を、古地図を含めて解説している。	H205/K2/1	
	 特別展 城下町福井の町と人	福井県立歴史博物館/編		2016	1041023548	同タイトルの特別展の図録。発掘調査の成果を交え、政治・経済の拠点となった都市、福井城の歴史を紹介している。	H215/H20/1	
	 シリーズ藩物語 福井藩	舟澤茂樹	現代書館	2010	1041238195	藩祖は家康の二男、結城秀康。幕末の名君・春嶽。北陸安定の要、親藩福井藩の歴史を述べている。	H215/H5/5	
	 福井市史 通史編2 近世	福井市/編		2008	1049250390	福井藩の歴史や城下町の様相のほか、建築や宗教、芸能や工芸などの文化を詳細に述べている。	H221/H17/1-2	
	 福井県埋蔵文化財調査報告 第177集 福井城跡第1・2分冊	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター/編		2022	1041275429 (第1分冊) 1041275452 (第2分冊)	北陸新幹線建設事業に伴い、城の橋通りの南側で行った福井城跡の発掘調査の報告書。	H200/H7/177-1B 177-2B	
長崎遺跡	 ミネルヴァ 日本評伝選 新田義貞	山本隆志	ミネルヴァ書房	2005	1049218736	南北朝の戦いで奮闘して、長崎称念寺で弔われた新田義貞の歴史と一族の行動を述べている。	H289/N/18B	
	 戦争の日本史 8 南北朝の動乱	森茂暁	吉川弘文館	2007	1015018144	全国に広がり、半世紀以上続いた日本史上未曾有の動乱。南北朝の動乱について述べている。	210.1/センソ/8	
	 一遍と時宗の謎 時宗史を読み解く	桜井哲夫	平凡社	2014	1016187278	長崎称念寺を布教の中心とした時宗。謎を多く抱える一遍と、その教団の全体像について述べている。	188.6/イツへ	
	 明智光秀とは何者なのか？	歴史REAL編集部/編	洋泉社	2019	1016713461	長崎称念寺近辺に居住していたという明智光秀の実像について述べている。	289.1/アケチ	
	改定 称念寺	新田義貞公と時宗・称念寺	高尾察誠	称念寺	2019	1041174747	長崎称念寺と新田義貞について述べている。	H182/T6/3-3B
	改定 称念寺	明智光秀公と時宗・称念寺	高尾察誠	称念寺	2019	1041174804	長崎称念寺と明智光秀について述べている。	H182/T6/6-5B
	 福井県埋蔵文化財調査報告 第181集 長崎遺跡	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター/編		2023	1041309350	北陸新幹線建設事業に伴い、長崎称念寺の近辺で行った長崎遺跡の発掘調査の報告書。	H200/H7/181B	

	書名	著者	出版社	出版年	資料コード	内容	請求記号
糞置遺跡	 <b>ジュニア・日本の歴史2</b>	共著	小学館	2010	1020902076	奈良・平安時代の歴史を辿り、貴族と庶民の暮らしぶりを述べている。	210/シ
	 <b>別冊太陽 日本のこころ 172 東大寺</b>	西山厚/監修	平凡社	2010	1015667171	華嚴宗の大本山「東大寺」。紆余曲折の長い歴史について述べている。	188.3/トウタ
	<b>越前の古代荘園</b>	福井県の文化財を考える会/編		1978	1040127084	古代糞置荘について詳細に述べている。	H214/H9/1
	 <b>荘園の考古学</b>	宇野隆夫	青木書店	2001	1014172306	古代～中世の荘園の様相を遺構・遺物に基づいて検討し、政治・経済・宗教など総合的な視点から、その景観と経営、実態を述べている。	210.3/ウノ
	 <b>歴史文化ライブラリー 434 樹木と暮らす古代人 木製品が語る弥生・古墳時代</b>	樋上昇	吉川弘文館	2016	1016364588	古代人が森林資源といかに関わり、木材から道具を作り出し、利用したかを述べている。	210.2/ヒカミ
	 <b>古代の都2 平城京の時代</b>	共著	吉川弘文館	2010	1015617127	天平文化が開いた平城京。発掘調査や文献研究の成果から宮都の様相や貴族・庶民の生活、地方との繋がりを述べている。	210.3/ヘイシ
	 <b>福井市史 通史編1 古代・中世</b>	福井市/編		1997	1041213644	糞置遺跡と同時期の縄文時代～古代の様相、古代東大寺領荘園について述べている。	H221/H17/1-1B
 <b>福井県埋蔵文化財調査報告 第90集 糞置遺跡</b>	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター/編		2006	1040730895	県圏場整備事業に伴い行われた糞置遺跡の発掘調査の報告書。第56・152集もこの遺跡の報告書である。	H200/H7/90B	
大町田遺跡	 <b>シリーズ 日本古代史1 農耕社会の成立</b>	石川日出志	岩波書店	2010	1015675034	稲作の導入を契機とする日本の大きな転換期を列島全体を視野に述べている。	210.2/イシカ
	 <b>知識ゼロからの古墳入門</b>	広瀬和夫	幻冬舎	2015	1016240176	古墳にまつわる素朴な疑問などを考古学の成果によりわかりやすく述べている。	210.2/ヒロセ
	 <b>前方後円墳の世界</b>	広瀬和夫	岩波書店	2010	1015629627	3世紀半ばから列島各地に造られた前方後円墳と、世界観や地域相互の関係を述べている。	210.2/ヒロセ
	 <b>敦賀の歴史探訪</b>	糞谷好晃	気比史学会	2021	1041248277	陸・海交通の結節点として多くの人、物、情報が行きかった敦賀の歴史について述べている。	H253/K8/1B
	 <b>大町田遺跡</b>	敦賀市教育委員会/編		2010	1040870774	敦賀市教育委員会が行った大町田遺跡の発掘調査の報告書である。	H253/T11/7